

# 国内発生66・67例目CSF(豚熱)

## 栃木県でも患畜を確認！

### 〈発生施設の概要〉

66例目所在地：栃木県那須塩原市 飼養状況：約6,000頭

67例目所在地：栃木県那須塩原市 飼養状況：約22,000頭

### 〈経緯〉

- ・ 栃木県は、同県那須塩原市の2農場から、飼養豚が死亡している旨の通報を受け、4月16日、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施。
- ・ 栃木県の検査により豚熱の疑いが生じたため、国の研究機関で精密検査を実施したところ、17日、豚熱の患畜であることが判明。
- ・ **なお栃木県もワクチンの接種推奨地域となっている。**

### 生産者の皆様へ、

- ・ 今年1月～4月に豚熱が発生した養豚場(和歌山、群馬、奈良)で国の疫学調査チームが現地調査を行ったところ、
  - ・ 豚の豚舎間での移動時に地面やコンテナの消毒が徹底されていなかった。
  - ・ 豚舎に入る際の手指の消毒が不十分などの指摘がありました。
- ・ 財産である豚を守れるのは、生産者の皆様の毎日の管理にかかっています。
- ・ ワクチン接種で安心することなく、引き続き飼養衛生管理基準の遵守の再徹底をお願いします！

県内でも野生イノシシからのCSF陽性確認が続いています。

**異常豚観察**の徹底を再度お願いします！

連絡先：山梨県西部家畜保健衛生所

電話：0551-22-0771 FAX：0551-22-6728

夜間・土日・休日の連絡先：090-5564-1018

土日・休日の連絡先：090-5568-0817

**ワクチン接種済みだからと安心せず、人や車両、ネズミ等の野生動物の出入による、ウイルス侵入に最大限の警戒をお願いします。**

**飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、自分の農場・家畜を疾病から守りましょう！**

### **※野生動物の侵入防止対策**

- 飼養衛生管理区域への野生動物侵入防止
- 豚舎周辺の除草、木の伐採
- 豚舎内外の整理、整頓、清掃
- 飼料タンク下等エサこぼれ防止
- 堆肥舎、資材庫へも野生動物侵入防止
- 豚舎内のネズミの駆除
- 豚舎開口部への防鳥ネットの設置

### **※消毒の徹底**

- 農場や豚舎の出入り口、周辺の消毒
- 農場に出入りする工事車両や農場の従業員の車両を含めた全ての車両の洗浄、消毒の徹底

### **※出荷の際の消毒に注意**

- 出荷車両内外（特に運転席）の消毒
- 運転手の更衣や長靴の履き替えを徹底

## 豚熱ワクチン接種農場における飼養衛生管理の重要性

- ①ワクチン接種をしても全ての豚が免疫を獲得できるわけではないこと、②全ての子豚に適切な時期にワクチン接種をすることは困難であることから、ワクチン接種農場においても免疫を獲得していない豚が存在。
- このため、ワクチン接種農場においても、豚熱ウイルスの農場侵入防止のための、飼養衛生管理の徹底と豚に異状がみられた場合の早期通報が必要不可欠。

### ①免疫付与率80%

■ワクチン接種をしても全ての豚が免疫を獲得できるわけではない。

- ・ワクチンの抗体付与率は80~90%

### ②子豚

■全ての子豚に適切な時期にワクチン接種をすることは困難。

⑦ 母乳を通じて母豚から移行する免疫の量が多い期間は、接種してもワクチンウイルスが排除され、ワクチンの効果がない

⑧ 母豚から移行した免疫の量は漸減していくため、適切な時期にワクチンを接種すれば、効果が発現  
 ・用法・用量では、1~2か月齢での接種を推奨  
 ・現状、50~60日齢程度での接種が望ましい(牛豚小委議論)

⑨ しかしながら、個体によりワクチンの適切な接種時期に差異があることから、全ての子豚に適切な時期にワクチン接種することは困難

